

平成 28 年度 第 1 回村上市環境基本計画等進捗管理委員会 会議要約

- 1 開催日時 平成 28 年 10 月 31 日（火） 13:30～15:30
- 2 開催場所 村上市役所 本庁 4 階 大会議室
- 3 出席委員 会田委員、大嶋委員、片野委員、佐藤委員、富樫委員、
中村委員、加藤委員、荒井委員、山田委員、早川委員
- 4 欠席委員 本間委員、木村委員、伴田(寛)委員、伴田(美)委員、
菊池委員、鈴木委員、渡辺委員
- 5 出席職員 中山課長
生活環境室：長谷部課長補佐、鴻島係長
新エネルギー推進室；田中課長補佐、大滝副参事
- 6 会議次第及び会議要約 別紙のとおり

平成28年度第1回村上市環境基本計画等進捗管理委員会次第

と き 平成28年10月31日（火）

午後1時30分～

ところ 村上市役所4階 大会議室

1 開会

2 あいさつ

3 報告事項

(1) 環境フェスタ村上2016について

(2) 岩船沖洋上風力発電事業について

4 議事

(1) 環境基本計画進捗状況について

5 その他

6 閉会

1 開会（午後 1 時 30 分）

事務局；皆さま、本日はお忙しいところ、ご参集いただき、大変ありがとうございます。
定刻を過ぎましたので、只今から平成 28 年度 第 1 回村上市環境基本計画等進捗
管理委員会を開催させていただきます。

私、当委員会の庶務を担当しております環境課の中山と申します。宜しくお願い
いたします。

2 あいさつ

事務局；それでは、次第に従いまして進めさせていただきます。

はじめに、日程 2 のあいさつということで、本委員会の委員長であります富樫繁春
委員長からごあいさつをお願いいたします。

委員長；委員長の富樫と申します。

議事は大変不慣れでご迷惑をおかけしますが、至らないところも多々あるかと思
いますがよろしく申し上げます。

事務局；ありがとうございました。

次第にはございませんが、今回の推進委員会から、委員の交代がございましたの
で、ご報告をさせていただきます。名簿をご覧ください。

1 号委員であります、一般住民の代表者から 2 名の交代がございました。

1 名は荒川地域区長会から選出いただいております、斉藤委員から会田委員に
交代されております。よろしく申し上げます。

委 員；荒川地区の区長会の会長をしております会田でございます。この 4 月から会長に
なりましたのでよろしく申し上げます。

事務局；ありがとうございました。

続きましてもう一方でございます。村上地域区長会から選出いただいております
ました、高橋委員からこの度片野委員に交代されております。

委 員；片野でございます。よろしく申し上げます。

事務局；ありがとうございました。

事務局；ここで、本日の定足数についてご報告申し上げます。

委員総数 17 名のところ、10 名の出席をいただいております。従いまして、進捗管理委員会設置要綱第 6 条第 2 項の規定に基づきまして、過半数以上の出席がありましたので、本日の会議は成立することをご報告申し上げます。

それでは要綱第 6 条により委員長には以後の議事進行をお願いいたします。宜しくお願いいたします。

3 報告事項

(1) 環境フェスタ村上 2016 について

委員長；座って失礼いたします。要項の 3 の報告事項に入らせていただきます。

(1) 「環境フェスタ村上 2016 について」を事務局から説明をお願いします。

(事務局から説明)

委員長；ありがとうございました。

只今の報告について何かご質疑ありましたらお願いします。

委員；村上生活学校というのはどういう団体ですか。

副委員長；生活学校というのは、30 年前ぐらいに、婦人会の方が村上市の環境とか、生活などを改善するために集まった団体であります。

委員長；他にありませんか。

ないようでしたら次の項目にいきます。

(2) 岩船沖洋上風力発電事業について

委員長；岩船沖洋上風力発電事業について事務局からお願いします。

(事務局から説明)

委員長；丁寧なご説明を受けたんですが、ご質問のある方いらっしゃいますか。

私のほうで幾つか、個人として聞きます。

想定事業概要のところの発電量が出ていますけれども、風力発電は自然の物で、

稼働率といいますか、風車が回っているのは何パーセントぐらいを想定しているんですか。

事務局；今想定しておりますのが、20%から30%ということで想定しております。100%で考えて2、3割程度ということです。

委員長；ちょっとそれは甘いというか、見通しが無いと思います。

もう一つ聞きたいんですが、北側の岩礁と説明がありましたけれども、火山性の岩礁ですか。堆積層ですか。

事務局；地質の具体的な成分までの調査は行っておりませんが、堆積層というふうに考えられます。

委員長；日本海の地質は何枚も下から上まで層が重なっています。3000mくらい重なっているんです。硬い所があればむしろ安定といいますか、密着していいのかなと素人考えでは思います。でもお金はかかるし、コンクリートも使うので、その辺は専門外で分かりませんが。北だとあそこに蒲萄山地から流れて岩ヶ崎のほうにずっと出て行って下は火山岩で火山性なんですね。でも東側の村上寄りの岩盤は、堆積層で1億年以上昔のものすごく硬い岩盤なんです。私が聞いたかったのはどちらかということなんですが。

事務局；今回の調査では、スキャンによる調査、音波による調査でございましたのでそこまでの地質は判明しておりません。

実際やるとなれば、ボーリング調査をやって地質の詳しいデータが出るとそういうことになります。昨年の調査ではそこまでは判明していないというのが現実です。

委員長；音波で地層が何枚もあるかということが分かったけれども、その正体はよく分らないということですか。

事務局；そうです。

委員長；ボーリングの結果どういう地層が出たのか、どういう岩石が出たのかを教えてください。

事務局；その段階になりましたら、公表していくことになるかと思います。

委員長；他ありませんか。

委員；前に新聞等で市民団体から公開質問状が出て市長が回答されて、更にその回答に対して質問するような記事が出ておりました。それに対して回答はしたんでしょうか。まだ出されていないのですか。

事務局；再質問状につきましては、市のほうに届いております。回答につきましては作成中でありまして、まだ回答には至っておりません。近々回答する予定ではおりません。回答したものは市民の皆様にも公平に見ていただくということでホームページにアップする予定であります。

4 議事

(1)環境基本計画進捗状況について

委員長；次に4議事に入ります。(1)環境基本計画進捗状況について、説明をお願いします。

(事務局から説明)

事務局；本日お配りした資料で「環境基本計画進捗状況について」の事前にいただいたご意見ということで二人の委員の方からご意見いただいておりますのでご紹介させていただきます。

まずは伴田寛委員からのご意見です。

1. 海岸漂着ごみ対策の推進について（岩船港）

少しは良くなっていますが、県外の人のマナーが悪いと思います。

看板等を設置すると良いと思います。

2. 悪臭の発生抑制（岩船・瀬波地区）

畜舎の悪臭は夏が特にひどく、窓を開けられない状態です。

観光文化都市としては最低だと思います。

何とか文書だけでなく、効果のある方法で対応をしてください。

というご意見をいただきました。

もう一方、鈴木委員からも事前にご意見をいただいております。

現役世代として、責任世代として岩船沖洋上風力発電事業には、地球環境のためにも、村上地域経済のためにも大いに期待しているので積極的に推進してほしい。

というご意見をいただきました。

これで説明は以上となりますが、この後委員の皆様から報告書についてのご意見をいただきたいと思ひます。

いただきましたご意見については、後日事務局のほうで取りまとめて関係各課に報告したいと思ひます。よろしくお願ひします。説明は以上です。

議長；ありがとうございます。

事前に資料配られていたわけなんですけれども、今の説明を聞いて何かご質問はありますか。

事務局；事前にいただいた意見に関しまして事務局のほうから回答させていただきます。

1点目の伴田委員からの質問で、海岸漂着ごみ等の関係ですが、岩船港につきましては釣り客が沢山来ていただひいて活性化にも繋がっているところなんです、ごみの処理につきましては、場所が港湾の部分でござひまして、港湾管理者であります県と協議中でございます。看板の設置等につきましても県に検討いただひいてるところでござひまして、現在調整中というところでございます。岩船港利用促進協議会という会がござひますが、その中でも本年度勉強会を開催するという計画になっておりますので、その中でその部分についても検討していただくという予定になってございます。

2つ目の悪臭の発生抑制についての部分でございますけれども、これにつきましては9月の議会の一般質問の中でも取り上げられたところござひまして、岩船地区の悪臭につきましては、周辺の畜舎、神林の西神納地区になりますけれども、その畜舎が発生原因になってございます。今までは悪臭が出た時にはその都度注意、指導してきたところでございますが、今後畜産の事業者との話し合ひを持ちまして、お互いにどうしたらいいんだろうかということ話し合ひっていくというところから、現在進めているところでございます。その中で、一つは県の普及センターのほうにも現地に直接入っただひいて、改善できるところがあるのではないかとというような指導をしていただくというところと、臭気対策資材、抜本的な解決にはならないかもしれませんが、それらを試験的に使用してもらうことはどうだろうか、というような二つの案を畜産事業者との話し合ひの中で、今進めているところでございます。

それから、鈴木委員からいただひいたご意見の、岩船沖洋上風力発電につきましては、地球温暖化ということで今世紀末には平均で4.8度上昇する、海面の上昇も今世紀末で82センチ上昇するということがほぼ確実になっているところござひまして、更に再生可能エネルギーを進めなくてははいけないということで、引き続きこの岩船沖洋上風力発電事業を推進していきたいというところ考えているところござひ

ます。以上です。

委員；伴田委員からの意見、ごみ対策について、地元岩船地区の区長会からも村上市への要望として市のほうにあがってきております。このことについてはおそらく関係機関の協力がないと中々進まないと思います。地元からもそういう要望は出ております。真夜中でも釣りをしてごみを捨てる状況であったんですが、瀬波地区にごみ箱を置いたら、分別に関係なく非常に沢山捨てるので、逆に地元で撤去したという経緯もあります。岩船地域の方も環境整備をされているんですけども、ぜひ何とか対策を講じてほしいということで要望を出しておりますのでまもなく回答が出てくるかと思えます。

委員長；分かりました。

他ありませんか。

委員；二点ほどあるんですが、一点は2ページの環境基本計画の具体的な展開ということで当然総合計画というのは、今現在、市で第二次総合計画を作成してもうすぐ作成が終わって、議会にかけるということになるかと思いますが、当然ながらこの計画も総合計画とあわせて見直しをするということになるかと思いますが、いかがですか。

それからもう一つ、松くい虫の被害についてなんですが、これは専門外になるかと思いますが、現在までの被害がまだ収束しない状況になるんですか。あるいはもう収束しているのか、その辺を聞かせて下さい。

事務局；総合計画との整合性ですが、先ほど環境基本計画の中間見直しということでご説明申し上げましたが、環境基本計画では10年間の計画で丁度中間年度の5年目、昨年度に中間見直しということで数値目標と、施策の一部見直しを行っております。

今現在、総合計画の策定を進めておりますが、そちらのほうとの整合はもちろん取らせていただいております。ただ、総合計画を反映するのではなくて、うちのほうが先に見直しをしたので、整合を取るように総合計画の策定をお願いしているところでございます。

松くい虫につきましては、2ページのところの松くい虫の被害面積が2行目のところに出ておまして、前年度の比較増減ということでこの度12.6ヘクタールの減ということにはなっておりますけれども、平成26年度が90.4ヘクタール、平成27年度が77.8ヘクタールということで若干少なくなっているんですけども、これが収束に向かっているかという、ここだけでは断言できないかと思いますがまだ多い状態になっております。

委員；松くい虫にやられて松がない状態になっているところもあるんですけども、そんな関係で被害が減っているのか、まだ被害が続く見込みなのか、その辺は事実関係がないと分らないでしょうか。

事務局；そうですね。担当部署は農林水産課になっていますけれど、引き続きこの件を注視していかなければならない部分だと思っております。

委員；3/12 ページの外来種の取り組み状況は未実施となっておりますけれども、非常にあっちこっち増えてどうしようもない状況です。しかも未実施となっておりますが、これについてはこれからどのようにやろうとしているのですか。

事務局；セイタカアワダチソウにつきましては新潟県内だけじゃなくて、全国的に外来種ということでかなり繁殖してきておりまして、国、県におきましても今のところ手がつけられない状況でいるかと思えます。市のほうとしても未実施という項目になってございまして、実際手をつけられない状況が続いているというところでございます。今のところ何かいい対策がないというところでございます。

委員；ところが昨日たまたま会津に行ってきたんですが、高速道路で、会津近辺の道路にはないんですよ。やっぱり私は何か出来ると思うんです。「未実施」となっているのが一番悪いですよ。

事務局；会津がどのように対策されているか私のほうでも調べてみまして、何か対策しているのであれば、参考にしていきたいと思っております。

委員；何かやったけどもこうだということであれば分かるけど、何もしないでというのはまずいと思います。ぜひ検討して下さい。

事務局；色々情報を仕入れていきたいと思えます。

委員；皆でバスの中から見ると、会津の高速道路の近辺はなかったです。「何でここにはないんだろう、まだ種が飛んできていないのかな」と思いましたが、奥のほうにはちらっとあったので、何か講じているんだなと思います。

事務局；高速道路沿線ですか。

委員；沿線です。やっぱり田んぼのほうはそんなにないですよ。こっちは花畑みたい
に空き地あたりにはいっぱい咲いているけれども。ぜひ何か参考になるなら聞いて
みて下さい。

事務局；そうですね。聞いてみたいと思います。

委員；先般、お城山で草刈りや根を抜くという報道があったかと思いますが。

委員長；この間、9月に外来種の退治ということで、根っこから駆除するという小規模な
活動はありました。

委員；漁業関係の件ですけれど、禁漁区とか禁漁日を設定すると書いてあるけども、魚
道がよくないというのは結構耳にするんですよ。そのたびに今までは上流に出て
いたアユ、サクラマスなんかは全然残らない。そして魚道の堰根の下にはごちゃご
ちゃごちゃごちゃ魚がいっぱいいるというような声も聞かれてきますけど、そうい
う関係は市ではどうしようもないかもしれませんが、一応環境の中に入るとしま
すので何か関係するときに話をする機会があったらぜひお願いします。

事務局；どの辺ですか。

委員；特に勝木川です。

事務局；そういった意見があったと関係課に伝えておきます。

委員長；他、ありませんでしょうか。

委員；悪臭、畜産関係で朝日地区が少なくなっているようですが。

事務局；朝日地区で昨年まで問題になっていた鶏舎がありまして、その鶏舎が実は倒産し
まして、その後新しい鶏舎の経営者が参入してきました。今まで適正管理されて
いなかった鶏舎だったんですけども、その糞を処理して、今後最新式の形の鶏舎を
そこで経営させていただきたいということで地元の理解を得て今、鶏舎を設置する
予定でいます。それが大きな朝日地区の問題ということでございました。

その他にも鶏舎等がありまして、それぞれ悪臭の問題と申しますか、課題は残し
てありますが、その地区の地元の方と、事業者、行政も入りまして、年1、2回の
協議会を開催して良い方向に向かうような形で毎年話し合いを持っていると、その

ような状況です。

委員；村上市街地の場合は、下渡山とお城山と朝日が袋になっていまして、海岸が近い風の関係で、陸風が吹く朝方になると出てくるんですよ。お城山と下渡山の袋の入口の所から淀んだ空気が出てくるんですよ。三面川の沿線から最近、声が聞こえなくなってきたのでどうなったのかなと。

事務局；旧村上市街地の悪臭の元は想像するには、坪根地内の鶏舎が発生源じゃなかろうかということで、それはそれで関係集落のほうと、行政と事業者と一緒になりました対策を毎年やっているというような状況でございます。

委員；そういえば朝日も少し臭いが減ったかな。前より臭いが少ない感じがします。その倒産した業者がいなくなったからでしょうか。

事務局；倒産した業者は岩沢地内7号線よりも奥のほうにあった鶏舎でございますので、それはおそらく7号線道路のところにはあまり影響なかったかもしれません。

今、臭いが少なくなっているなどおっしゃっていただけるのであれば、早稲田地内の鶏舎がよくなってきたのかなという気もしますが、まだはっきりは分かりません。

委員；あまり臭いはしないです。

事務局；その辺は引き続き事業者のほうにも協力いただいて、色んな微生物等を使っていただいてやっております。

委員；ぜひ良い方向にいて下さい。

委員長；今お話があった朝日のほうで畜産があっちこっちありまして、一番ひどいのが早稲田です。それで鶏糞の対策は、今までは燃やしていたので臭いがすごかったんですが、新しく処理する機械を入れていくことで進んでいます、まだ完全ではなくて、まだまだ何基も設置しなくてはならない状況です。若干減ったかなという感じはしますが、朝、晩風の状況で変わるのは今も続いています。20年30年と続いている問題なんですけど中々解決しない。岩沢地区のほうで先進的な取り組みがあると更に早稲田のほうでも取り組みやすいなということで区では役員を筆頭に取り組んでいる段階です。

委員長；他ありませんか。

委員；岩船地区のほうでも臭いがするとありましたが、神林のほうでは朝から晩、御飯食べる時まで臭いがします。何とかしてもらえればと、要望でした。

委員長；他ございませんでしょうか。日頃感じていることをおっしゃっていただければありがたいですけど。

委員；プリントにもありますが、地元説明会及び市民説明会についてとありますが、私達、巷で話し合っていること、これで良いのだろうかということが全て書いてあるんですけども、これは一項目ずつ説明は行われたんでしょうか。

委員長；風力発電の件ですか。

委員；意見、抜粋のところでは皆が不安に思っていることが全部書かれてあるので、文章でも何でも良いから皆さんにも聞かせてもらいたいと思います。私は風力発電よりも、波力発電のほうが良いのではないかなと思います。ちゃんと皆にわかるようにお話しになってもらいたいです。

事務局；只今、委員の方からお話あった内容ですが、これは市民説明会の時に出されたご質問で、説明会にご出席いただいた市民の方には、その都度丁寧な説明を我々事務局及び市長のほうからしております。それは説明会に出席した方でないと中々回答まで存じあげないということで、これまでの回答につきましてもホームページで回答等を皆様にお知らせしております。また最近になって出てきている質問につきましても、先ほど前段でお話ありました市民団体のほうから公開質問状等が出されてその回答等も含めて回答はしておりますが、またこの時期に昨年と違った具体的なこういう質問一つ一つにつきましても丁寧な回答ができるようにホームページで改めて集約して公開する為の準備をしております。ですからそれがアップされればどんなでもある程度見れることとなります。

それからもう一点、波力発電のことがお話にありましたが、再生可能エネルギーの発電方法といいますのは、波力発電とか海の温度差を利用した発電であるとか風力発電に限らず色々な発電方法はございますが、今この計画はあくまで風力発電を前提としまして公募をいたしまして業者の決定まで至っている、そういう過程を踏んでおりますので、今この時点で計画を変更というのはちょっと難しいかと思いません。ただ、今後可能性を探りまして他の発電の方法というのも否定するものではありませんのでそのようにご理解いただければと思います。

委員；ありがとうございます。

副委員長；提案なんですけど、温暖化対策をもっと身近なところでやるには、例えば枝葉とか草とかリサイクルする、今も枝葉をやっていますけど、もっと規模を大きくして、枝ごみの日とか生ごみの日とか。市民にもっと温暖化対策のアピールをしたらいいんじゃないかなと思います。大きなところの仕組み、業者のこともありますので、声掛けのところで発信するのが良いかなと思います。そういうことも情報提供するというのが市民の温暖化対策の一つのモチベーションになるんじゃないかなと思います。

それからもう一つ、松くい虫なんですけど、どうしても薬をまいていると虫も耐性ができてしまうので、また発想を変えてその地域にあった樹木を育てて樹木で防風林としてやるのも一つの手かなと思います。薬をまいてやるというのは一時だけで、虫の耐性ができますので、もう少し発想を変えたほうが良いのではないかなという話です。

それから植林をする時にやっているのはいつも杉なんですけど、今、日本の木材も高くてひっぱり出すのも大変だという時代なんですけれども、もっと自然を考えた広葉樹ですとか、そういう自然に変わるもの、水源を確保する樹木を、50年100年かけてやっていくというのも手じゃないかなと思います。

それからさっきの生ごみ対策としては、学校に安いコンポスターを一つか二つ置いて、リサイクルするというのを小さい時から目に見せておくという対策です。

あとダムですね。侵食の問題がありますが、私はあれはほとんどダムが原因じゃないかなと思っているんです。これから三面ダムも70年近く経ちますので、これから新しくダムを作る時には、電気エネルギーを取れますし、砂は環境に流れていくというような総合的な考えで、そろそろダム湖の解体とか10年20年かかると思うんですけどそういうものも考えて、砂が流れるようにしていくのも対策の一つかなと思います。砂が流れたらまた別の問題が出てきますけど、それは次にして。新潟は砂が流れてきて街が出来たというぐらいですから、また新しい問題が出ますけど、砂がつくにはダムから考えていかなきゃいけないかなと思います。それは長期的なことでもそういうことも考えていくのも必要かなと思います。

それから水質ですね。水質汚染というのは善玉の微生物が住めなくて増加できない状態ですから、日常使われている界面活性剤というのが水質汚染の原因の一つになっていますので、ぜひ界面活性剤を使わないような新しい水質改善の素材といいますかそういうことで技術革新、技術的にはあるんですけども公の場所から率先して環境に優しい掃除の仕方というのも提案したら良いのではないかなと思います。こういう時でないとか中々言えませんので、立場を借りてお話をしました。

どうもありがとうございました。

委員長；他に質問ありませんか。

委員；せっかく下水道課長さんが来ているので質問します。

下水道を整備した地区の水洗化率というのは今現在どんな状況なのか。それと、水洗化にした人は増えてはいるでしょうけど、増え方がどんな状況にあるのかお聞かせ下さい。

下水道課長；今ほどの件でございますが、公共下水道につきましては、現在、村上地区で整備しており、平成30年度を完了目標に進めているところですが、市内全域での公共下水道、特定環境保全公共下水道合わせまして4月1日現在で66.5パーセントの水洗化率です。水洗化率は年二回調査しており、10月1日現在では67.5パーセントと1パーセントの増となっています。

水洗化率の低い原因につきましては、人口の多い村上地区が整備中ということもあり、また、荒川地区が平成26年度に完了しましたが、そちらも人口が市の中では多いほうですが、完了が遅かったということもあり、その辺でちょっと伸び悩みがあるのかなど。そんな中で昨年からは住宅リフォーム補助金制度が始まりまして、その中でもそれを利用いただいている方がいるということですので今後伸びてくるんだろうというふうに考えております。また、進捗率が低い地区を毎年まわっておりまして、個人又は企業の方にもお願いしております。

委員長；工事が完了したのに設置しないということですか。

下水道課長；完了が遅い地区は水洗化率も低いです。

委員長；全世帯、工事の進捗状況が完了しないということですか。

下水道課長；工事そのものは進んではいますが、他の地区で早い所だと、例えば山北だと昭和63年とか、それまでの年月があるものですから、長い年月の中で設置される方も増えてきている。下水道工事完了後は3年以内に接続して下さいということはあるんですけども、どうしても経費がかかるものですから、事業完了が遅い分、設置に関する費用のかかる問題が今一番大きいんですけど、それらのお金の工面等もあり時間がかかっているんだろうと思います。

委員；整備が終わっても接続はしないというのは、特に最近高齢化世帯が増えている問題もあるかと思えますけれども、だから安く接続できる問題じゃないですから、今の市のほうでリフォームの助成制度もありますが、いかんせん高齢化して、一人世帯で経済的に困難であるという状況にあると思われませんが、市のほうで毎年普及に歩いているということですね。

下水道課長；そのとおりです。

委員；分かりました。ありがとうございました。

委員；一つ聞きたいんですが村上市の農林水産関係で評価も高いんですが、地産地消として達成したという目標はあるんでしょうか。例えば 100 パーセント村上市で消費するとか、学校関係で使うのは分かるのですが、一般的に地産地消というのはどんなことでわかるのでしょうか。

事務局；学校教育課、農林水産課の所管でやっているものなのですけれども、内容といたしましては、特に 100 パーセントとか特に目標数値を定めないで事業に取り組むというところがございます。こちらの取組状況のほうにありますように学校教育課のほうでは J A新潟岩船と協力して生産者を交えた打合せ会議、生産者との交流給食会を開催するなど、調理場、学校現場と生産現場のやり取りをするというような形で取り組んでいるということがございます。

農林水産課のほうとしましては、エコファーマー制度、県の現農薬、現価格肥料認証制度所得の支援、また、環境保全型の直接支払、公共事業の周知ということで周知活動に力を入れてやっているということで、委員がおっしゃるような特に目標値を定めて何パーセントでやりましょうとかいうよりも、啓発活動のほうに力を入れてやっているということがございます。

委員；村上市として地産地消として 100 パーセントに近いということを把握をしていないということですね。学校とかでは分かるけど一般市民が地産地消と言った時にどのぐらい消費しているかは分からないということですか。

事務局；その辺は把握できておりません。

委員；上下水道も合併してから、常々料金が統一になるという話だったのだけれども、まだ旧村上市のほうが出来ていないような、いつになったら統一した料金できるんでしょうか。

下水道課長；基本料金につきましては、平成 26 年度から 5 年かけて統一させていただくという途中でございます。30 年の 4 月で一律基本料金が 1500 円になるということございまして、その後従量料金ですか、10 立方を超えた 1 立方あたりの単価、これを今後統一するということが予定されております。

下水道ばかりではなくて上水道の方の料金もありますので、今後、委員会等の設置等をしながら上下水道料金の統一を検討する予定でいるということでございます。

副委員長；下水道について聞きたいんですけど、綺麗になって魚が泳いでいる状態で、そして最後に消毒するんですよね。消毒するということは魚も死んでしまうという状態になりませんか。

生きている魚がいるところを消毒する仕組みになっているんですけど、あの基準は大腸菌の数が多い時にやるとか、例えば一律にそういう規則だからやるとか、規則はあるんですか。

下水道課長；排水基準はございまして、大腸菌とかの滅菌も基準内でやっております。

副委員長；基準内であれば薬を使わなくていいんじゃないですか。

基準があって大腸菌とかを抑制するためにそういう基準があるんだったら大腸菌を少なくするとか。

下水道課長；それを見ながら管理させていただいております。

薬剤等は使っているんですけども、どうしても臭いが発生しますのでその抑制剤のようなもの、臭いを外に出ないでするのでそういうものも多く使っています。

副委員長；それをちょっと心配していました。

委員長；他はございませんか。

私、聞きたいことがあるんですがいいですか。

風力発電の地質調査の件で、音波のデータが出ていますけどピンクの線が何なのかははっきり分かりません。そこに活断層があるはずなので、波の中に出ているはずですよ。

次回、そういうデータがあるかと思うので、はっきりしたデータをせつかくの調査結果が皆に分るようにそういうふうなデータをご準備いただければありがたいで

す。せっかくの波のデータが消えているので、判断できないです。

事務局；委員長が言われる細かいデータは、この調査音波で分かるのであれば、そういう情報は入れるようにします。今のマルチチャンネル音波探査ではそこまでは解析できないのかなと私は聞いておりますが。

委員長；音波探索でできるんです。

事務局；このエリアで実施した音波探査は、委員がおっしゃるような火山層の分析等は非常に困難なんですけども、ただ日本海側の沿域、当然のように他の研究とかで色々何層関係明らかになっているのが多々ありまして、それと併せまして分析することは可能かとは思われるんですけども、そこまで事業者が必要に迫られて分析をどの程度しているかということは私共も把握しておりません。ただ断層がどうであってもこれだけの岩質があると工法的には検討が必要であると、その段階だけの報告だけは受けておりますので、今この場ではお答えできない状態です。

委員長；大規模な事業なので、これから何がおきるかわからないけれども、設置の以前の段階でチェックしていくことが大事だと思います。そういう意味でデータを公開して市民の皆さんが納得できるような形で進んでくれればありがたいです。

事務局；今、ご報告申し上げた探査のデータは今の段階のデータでして、当然事業者がこれから実施に向かうようなことになりまして、これから環境の影響調査含めまして工事の部分につきましても、もっと詳細な設計を組まなきゃいけないということになります。建設前には当然のようにボーリング調査が、おそらく計画される風車の建つ位置、それぞれのポイント、2分の1のポイント、それぐらいの細かい精度の実際のボーリング調査が行われることになると思いますので建設前にはそういった情報は開示されると思います。

委員長；私が言っているのは、GOサインが出たあとでは遅いわけですよ。環境調査をして安全性が保たなければこれは撤退するんだというふうに何回もこの場でもおっしゃっていたし、市長もそういうふうな答弁されています。色々心配されていることが出ていますよね。そういったことについてチェックを果たしていただいて、そして公開していただければありがたいと思います。

個人的な意見でいいますと、市民の意見がだいぶ分かれていますので、その中で市役所、行政のほうで前のめりになるというのはいかがかなと思います。あくまでも推進と、市民の生命保全だと思います。バランスを取りながら、あまり推進の姿勢

を取らないほうがいいのかなと。既成事実みたいにどんどんどんどん行ってしまうと、後戻りできないというか、ストップがきかなくなると思います。前も私、審議会の中で言いましたけれども、推進をやっているのが環境の皆さんなんですよ。それを環境面でストップするのも皆さんなんです。だからアクセルとブレーキを同じ課の中では無理だから、環境課はブレーキをするほうに徹底したほうが良い。推進をするのは別の課で担当すべきだというふうなことも申し上げたと思います。これは私の意見ですので。

長く皆さんからご意見いただきましたけれども、進捗報告についてはいいでしょうか。

5 その他

委員長；その他に移ります。

事務局からご連絡ありましたらお願いします。

事務局；連絡事項ということで、本日出席いただきました委員の皆様におきましては、報償を払わせていただきます。11月の中旬を目途にいたしまして、指定の口座のほうに振り込みをさせていただきますので後日ご確認くださいようお願いいたします。

もう一点、皆様方の任期につきましてのお願いでございますが2年間ということをお願いしておりまして、来年の1月29日で任期満了となるところでございます。皆様にはお忙しいところ長い期間、委員会に務めていただきまして大変ありがとうございました。尚、任期が終了いたしましたら、関係団体のほうに改めてこの後の進捗管理委員会の委員を推薦いただくお願いをしたいと考えておりますので、再度皆さんのところにお声がかかりましたら快く委員のほう引き受けて下さるようよろしくお願いいたします。以上でございます。

委員長；委員について受ける前に一つ要望があったんですが、学識経験者ということなのですが出来れば大学の専門の先生にどなたか一名お呼びいただければありがたいなと、また議論も深まるんじゃないかなと。新しい委員を選ばれる時にぜひ検討していただければなと思います。

事務局；その辺検討させていただいて、次回の委員を決める時に反映できればというふうに考えております。

委員長；閉会のほうに移ってよろしいでしょうか。

委員長；閉会の挨拶を副委員長からお願いします。

6 閉会

副委員長；皆さん長い時間色々意見を出していただきありがとうございました。

今回は本当にご苦勞様でした。以上であります。ありがとうございました。

一 同；ありがとうございました。